

こちら消防 119

消防本部通信指令室
(☎83-0232)

11月9日は119番の日です

●携帯電話からの119番通報について

近年、全国的に携帯電話からの119番通報が増えています。山陽小野田市消防本部においても、119番通報件数の約30パーセントが携帯電話からの通報です。携帯電話からの119番通報の場合は、管轄外の消防本部につながる可能性がありますので、火事や事故等の災害により通報する場合は、右のことに注意してください。



市民からの119番通報に対応する通信指令室の様子

携帯電話で通報する時は

- ①災害発生場所の市町村名を言きましょう。
- ②管轄外の消防本部につながった場合は、災害発生場所の消防本部に電話を転送してもらえますので、そのまま待ちましょう。
- ③災害発生場所の消防本部につながった時は、目安となる建物を言きましょう。
- ④あわてずに落ち着いて通報しましょう。

えがおのまち 9

「好きなほうじゃない」

自分の周りにいる人間がすべて自分の好きな人だったら…。きっとだれもが笑顔で毎日を過ごすことができるでしょう。しかし現実にはそのようなことはありえません。誰にでも「あの人、苦手だなあ」と思う人はいるはず。もし、その人のことについて聞かれたら、あなたはどうか答えますか？「嫌いです」と断言しますか？それとも「う～ん、あの人ねえ…」とお茶を濁しますか？それとも…。

タレントの萩本欽一さんは自身の著書の中で、「そういう時は“好きなほうじゃない”と答えるようにしている」と書いています。この言葉は実に曖昧な表現です。しかしそんな萩本さんの言葉は、テレビ画面の中で見られる萩本さんのお人柄どおり、相手の良さや可能性を引き出そうとする気持ちが込められた、大変意味深い一言なのではないでしょうか。

人は一度「嫌い」と言ってしまうと、その人の嫌な面ばかりが気になってしまいます。しかし、自分が苦手だと思える人にもきっと良い所があるわけで、その人の良さが見えていないだけなのかもしれません。少し違った角度から見つめ直してみませんか？きっとその人の素敵な一面が見えてくるはず。す。

こんな心の持ち方ひとつで、みんなが笑顔になれる社会になるといいですね。

(社会教育課)



12 公共と民間による事業の連携・協働

民間の経営手法を積極的に活用し、「民間が担うことができるものは民間に委ねる」という考えのもと、民間が行政サービスの供給主体となることが近年活発に論じられています。

これを代表するもののひとつとして、現在各自治体で導入が進められている「指定管理者制度」があげられます。平成15年の地方自治法の改正により始まったこの制度は、公の施設の使用許可権を民間企業等に与え、施設の管理・運営を任せる新しい制度です。従来の委託と違い、一般の民間企業やNPO法人等が管理・運営主体となることができ、公共的団体以外にも広く門戸が開かれています。また事業内容の優劣や経費のチェック等が厳しく問われることから、競争原理が働くというメリットもあります。

規制緩和の流れにより、従来の自治体による地域経営独占の時代から、企業経営者やNPO法人に携わる民間人が、公の施設を運営・管理することを通じて、地域経営に参画するという新たな時代を迎えつつあります。本市ではこの制度をすでに21施設に導入しており、今後順次拡大していく予定です。



今年10月から指定管理者制度を導入した竜王山公園オートキャンプ場

行政改革課 (☎82-1135)